

△フェロ・グラデュメット錠 [内]

- 【重要度】 【一般製剤名】 硫酸鉄 Ferrous Sulfate 【分類】 経口鉄剤 [徐放性]
- 【単位】 △105mg/錠
- 【常用量】 1～2錠/日 [鉄として 105～210mg/日]
- 【用法】 分1～2■空腹時に、または副作用が強い場合には食事直後に経口投与
- 【透析患者への投与方法】 常用量 (1)
- 【保存期 CKD 患者への投与方法】 常用量 (1)
- 【特徴】 無機鉄の徐放性製剤。空腹時に鉄吸収が高いので空腹時投与に設定されているが、消化器症状が強い例では食後投与も可。
- 【主な副作用・毒性】 悪心・嘔吐、腹痛、食欲不振、胃部不快感、下痢、便秘、発疹、蕁麻疹、肝機能異常など。
- 【安全性に関する情報】 徐放性鉄剤なので無機鉄であっても消化器症状が少なく、空腹時投与も可能 (1) 胃切除例には適さない (1)
- 【F】 生体の鉄欠乏状態による (5)
- 【tmax】 6～12hr (1)
- 【代謝】 生体内で鉄として利用される (1)
- 【排泄】 糞便中に排泄 (1)
- 【蛋白結合率】 トランスフェリンと結合して輸送 (1)
- 【Vd】 資料なし (1)
- 【MW】 151.91 [無水物]
- 【透析性】 透析されない (5)
- 【O/W 係数】 資料なし (1)
- 【相互作用】 甲状腺ホルモン剤、ニューキノロン、テトラサイクリンなどの吸収を阻害 (1)
- 【備考】 徐放錠のため嚙まずに服用 (1) 鉄放出後のプラスチック格子はそのまま糞便中に排泄される (1) 潜血反応で偽陽性になることがある。
- 【更新日】 20230823

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。